

# 長崎県感染症発生動向調査速報（週報）

2024年第14週 2024年4月1日（月）～ 2024年4月7日（日） 2024年4月11日作成

## ☆定点報告疾患（定点<sup>※</sup>当たり報告数の上位3疾患）の発生状況

### （1）インフルエンザ

第14週の報告数は336人で、前週より460人少なく、定点当たりの報告数は4.87であった。

年齢別では、10～14歳（48人）、8歳（36人）、6歳（29人）の順に多かった。

定点当たり報告数の多い保健所は、県南保健所（9.75）、県北保健所（9.25）、長崎市保健所（7.00）であった。

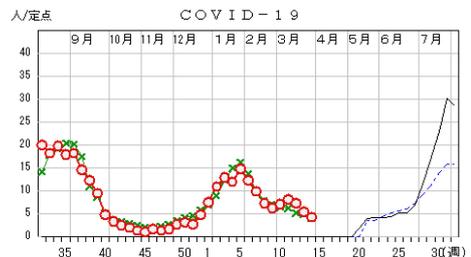


### （2）新型コロナウイルス感染症

第14週の報告数は292人で、前週より81人少なく、定点当たりの報告数は4.23であった。

年齢別では、20～29歳（33人）、70～79歳（33人）、50～59歳（32人）の順に多かった。

定点当たり報告数の多い保健所は、対馬保健所（23.67）、上五島保健所（7.33）、県北保健所（5.75）であった。

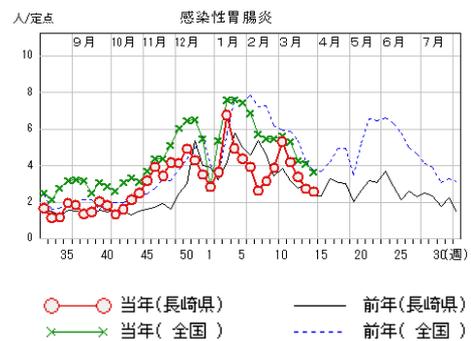


### （3）感染性胃腸炎

第14週の報告数は111人で、前週より7人少なく、定点当たりの報告数は2.58であった。

年齢別では、1歳（15人）、5歳（15人）、4歳（13人）の順に多かった。

定点当たり報告数の多い保健所は、佐世保市保健所（4.83）、西彼保健所（4.00）、長崎市保健所（3.60）であった。



※インフルエンザ/COVID-19定点数：69、小児科定点数：43、眼科定点数：8、基幹定点数：12

## ☆上位3疾患の概要

### 【インフルエンザ】

第14週の報告数は336人で、定点当たり報告数は4.87となりました。警報レベル終息基準値「10」を下回り、19週ぶりに警報が解除されました。地区別にみても、警報、注意報レベルを超えた地区はありませんでした。

インフルエンザは、インフルエンザウイルスを原因とする気道感染症です。感染経路は、咳やくしゃみによる飛沫感染と、飛沫等に含まれるウイルスが付着した手指で自分の眼や口、鼻を触ることによる接触感染があります。1日から3日間の潜伏期間のあとに38度以上の発熱、頭痛、全身倦怠感、筋肉痛、関節痛などの全身症状が突然現れます。これに続いて咳、鼻汁などの上気道炎症が起こり、約1週間で軽快するのが典型的な症状です。

今後も手洗い・手指消毒、適切なマスクの使用、換気などの基本的な感染対策を励行し、予防に努めましょう。

【新型コロナウイルス感染症】

第14週の報告数は292人で、前週より81人少なく、定点当たり報告数は4.23でした。地区別では、対馬地区（23.67）、上五島地区（7.33）、県北地区（5.75）は他の地区より多くなっています。今後も動向に注意しましょう。

本疾患の主な症状は、発熱、咳、全身倦怠感等の感冒様症状で、主に飛沫感染や接触感染により感染します。場面に応じたマスクの着用や手洗い、換気、三密の回避などの基本的な感染対策に努めましょう。

【感染性胃腸炎】

第14週の報告数は111人で、前週より7人少なく、定点当たりの報告数は2.58でした。地区別にみると佐世保地区（4.83）、西彼地区（4.00）、長崎地区（3.60）は、他の地区より多くなっています。

本疾患は、細菌又はウイルスなどの病原微生物による嘔吐、下痢を主症状とする感染症です。原因はノロウイルスやサポウイルス、エンテロウイルス、アデノウイルスなどのウイルス感染による場合が主流ですが、腸管出血性大腸菌などの細菌が原因となる場合もあります。

手洗いの励行とともに、体調管理に注意して感染防止に努め、早めに医療機関を受診しましょう。

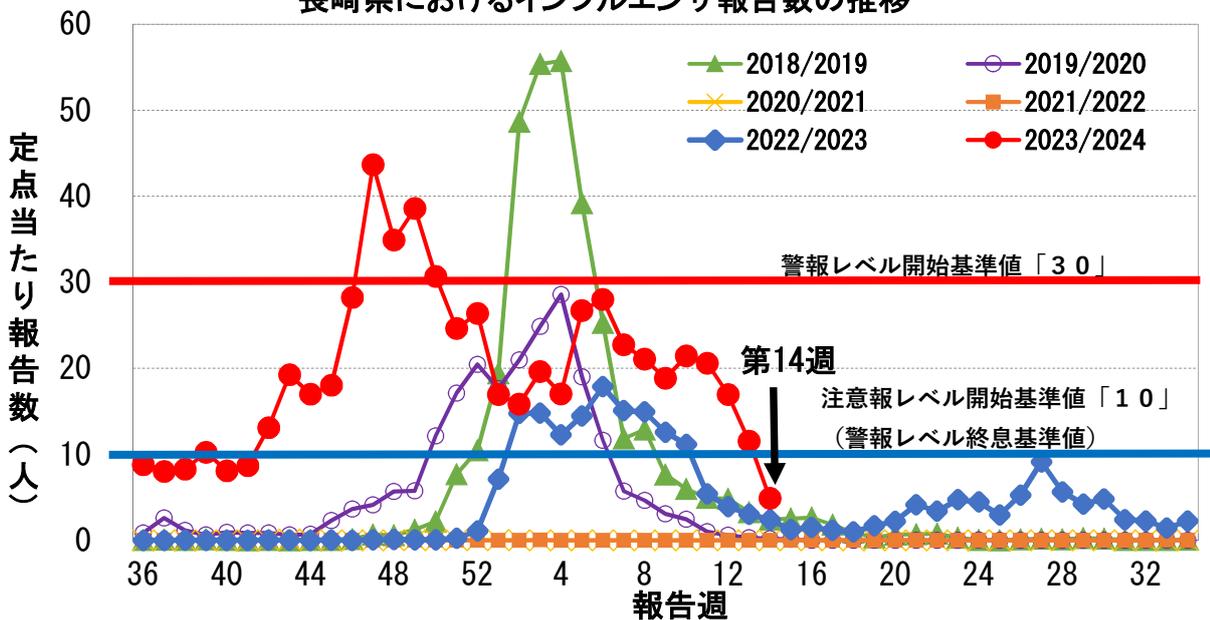
★トピックス：インフルエンザの流行警報が解除されました

インフルエンザの2024年第14週の定点当たりの報告数は「4.87」で、4週続けて減少しました。警報レベル終息基準値「10」を下回り、2023年第47週（11月20日から26日）から継続していた流行警報が19週ぶりに解除されました。地区別にみても、警報、注意報を超えた保健所はありませんでした。

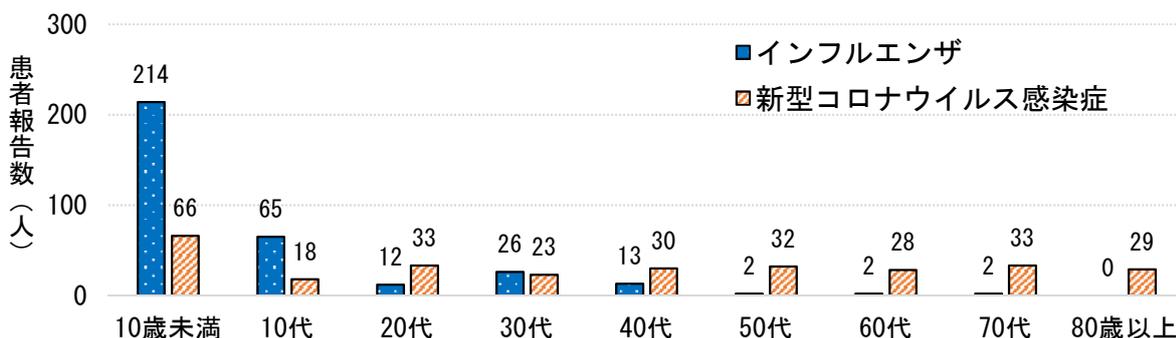
2023/2024シーズンにおいては、A/H3、A/H1pdm09、B/victoriaの3種類が検出され、シーズン当初はA型が多く、11月以降B/victoriaの割合が増加しています。

警報は解除されましたが、今後も手洗い・手指消毒、適切なマスクの使用、換気などの基本的な感染対策を励行し、予防に努めましょう。

長崎県におけるインフルエンザ報告数の推移



長崎県における年代別患者報告数

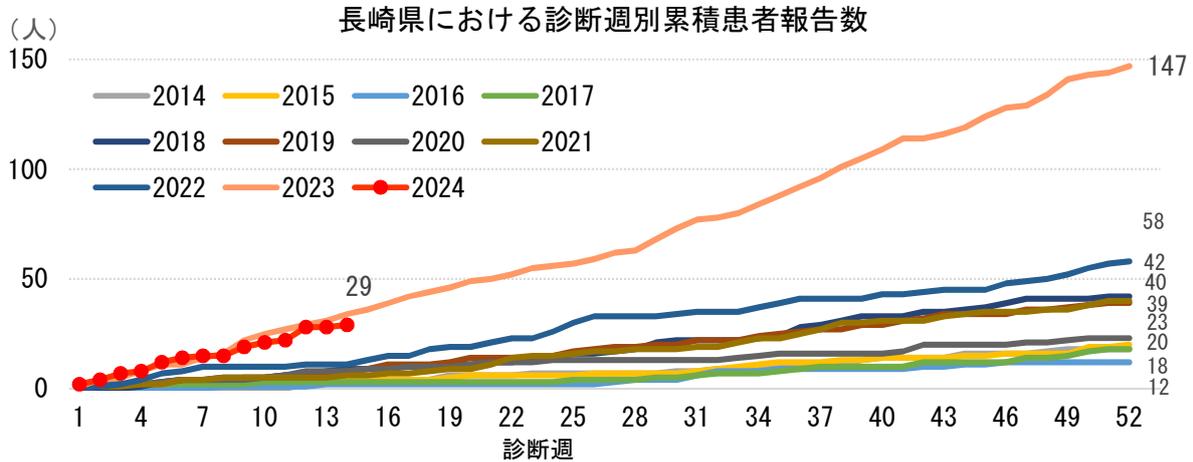


☆トピックス：梅毒の患者数が増加しています

長崎県では2023年に147件の梅毒の報告があり、現行の調査が開始されて以降、過去最多の報告数となりました。2024年は第14週までに29件の報告があがっています。

梅毒は早期診断、早期治療が重要ですので、感染が疑われる症状がみられた場合、感染の不安がある場合には、早期に医療機関を受診しましょう。また、県内の保健所では、無料の相談・検査を受けます（事前の連絡・予約が必要）。感染を予防するには、コンドームを適切に使用することや感染のリスクとなる不特定多数の人との性的接触を避けることが重要です。

発生状況は、長崎県感染症情報センターホームページ内「梅毒の発生状況」に掲載しています。



☆トピックス：マダニやツツガムシが媒介する感染症に注意しましょう

マダニ類やツツガムシ類は、野外の藪や草むらに生息しているダニで、野生動物が出没する環境に多く生息しているほか、民家の裏山、裏庭、畑やあぜ道などにも生息しています。

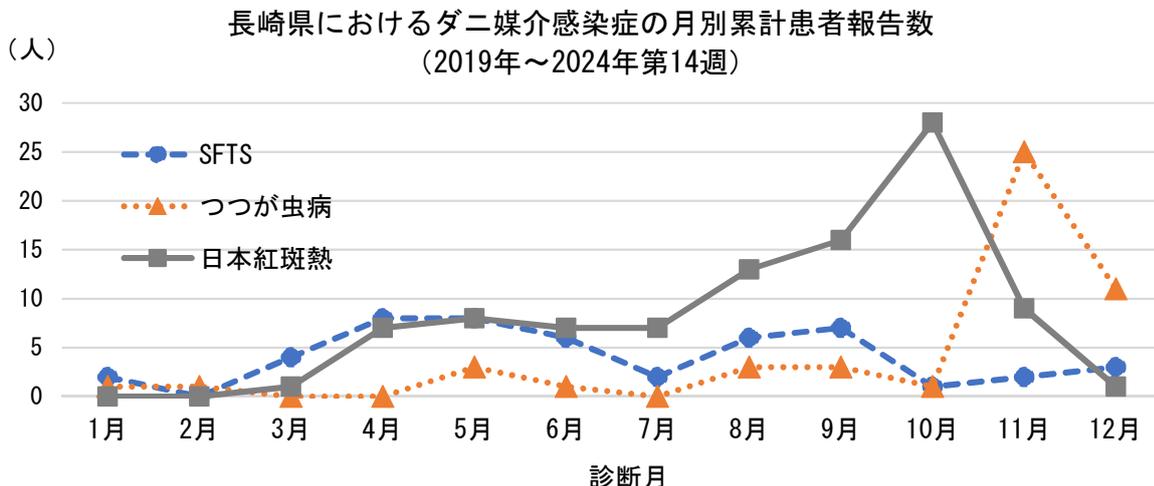
マダニ類は、日本紅斑熱や重症熱性血小板減少症候群（SFTS）などを媒介し、ツツガムシ類はその名のとおりつつが虫病を媒介します。

マダニ等の活動が活発になる4月から患者の報告数が増加します。野外で活動する際は、長袖、長ズボン、長靴を着用するなどして肌の露出を極力避けて感染防止に心がけましょう。もし、マダニ等に咬まれていたことに気づいた場合、無理に取り除こうとせず、皮膚科等の医療機関で適切に処置してもらいましょう。また、咬まれた後に発熱等の症状があった場合は、速やかに医療機関を受診しましょう。受診した医療機関では、咬まれた状況などをできるだけ詳細に説明しましょう。

長崎県におけるダニ媒介感染症の発生件数

年	2019	2020	2021	2022	2023	2024
SFTS	8 (2)	6 (0)	6 (1)	13 (2)	13 (0)	3
日本紅斑熱	15 (0)	18 (0)	28 (3)	22 (0)	14 (0)	0
つつが虫病	1 (0)	11 (0)	14 (0)	7 (0)	15 (1)	1

※( )は第14週までの発生件数



◆全数届出の感染症

2類感染症：結核 患者 男性（80代以上・1名） 女性（80代以上・1名）  
 無症状病原体保有者 男性（30代・1名） 女性（20代・1名）

3類感染症：報告なし

4類感染症：重症熱性血小板減少症候群 患者 男性（70代・1名）  
 レジオネラ症 患者 男性（80代以上・1名）

5類感染症（全数把握対象）：侵襲性肺炎球菌感染症 患者 男性（20代・1名）  
 梅毒 患者 男性（50代・1名）

◆定点把握の対象となる5類感染症

(1) 疾病別・週別発生状況 (第9～14週、2/26～4/7)

疾患名	定点当たり患者数					
	9週	10週	11週	12週	13週	14週
	2/26～	3/4～	3/11～	3/18～	3/25～	4/1～
インフルエンザ	18.83	21.42	20.58	16.94	11.54	4.87
新型コロナウイルス感染症	6.19	7.07	8.17	7.23	5.41	4.23
RSウイルス感染症	0.14	0.05	0.21	0.05	0.19	0.35
咽頭結膜熱	1.21	0.93	1.30	0.93	0.91	1.30
A群溶血性連鎖球菌咽頭炎	3.74	4.79	4.42	3.72	2.21	1.84
感染性胃腸炎	3.88	5.30	4.19	3.37	2.74	2.58
水痘		0.09	0.05	0.07	0.09	0.07
手足口病	0.21	0.42	0.42	0.49	0.26	0.23
伝染性紅斑（リンゴ病）			0.02			0.02
突発性発しん	0.14	0.35	0.30	0.28	0.26	0.23
ヘルパンギーナ		0.07	0.02			
流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）						0.07
急性出血性結膜炎	0.13	0.13	0.13			
流行性角結膜炎	0.63	1.00	1.25	0.88	0.50	0.38
細菌性髄膜炎			0.08			
無菌性髄膜炎		0.17	0.08			
マイコプラズマ肺炎			0.08		0.08	
クラミジア肺炎（木嶋病は除く）						
感染性胃腸炎（ロタウイルス）						

(2) 疾病別・保健所管内別発生状況 (第14週、4/1～4/7) ※赤字：警報レベル、青字：注意報レベル

疾患名	定点当たり患者数（県・保健所管轄別）										
	県	佐世保市	長崎市	壱岐	西彼	県央	県南	県北	五島	上五島	対馬
インフルエンザ	4.87	2.91	7.00	2.67	3.00	3.70	9.75	9.25	0.50	0.67	1.00
新型コロナウイルス感染症	4.23	2.27	4.24	2.33	3.33	2.50	2.88	5.75	1.00	7.33	23.67
RSウイルス感染症	0.35	0.33	0.30		0.75	0.50	0.40	0.33			0.50
咽頭結膜熱	1.30	1.50	0.20	1.50	0.75	1.33	0.40	6.67	3.00		
A群溶血性連鎖球菌咽頭炎	1.84	1.67	1.50		3.50	1.83	3.40	1.67	1.33	1.00	0.50
感染性胃腸炎	2.58	4.83	3.60		4.00	2.17	1.80	2.00	0.67		
水痘	0.07	0.17	0.20								
手足口病	0.23	0.17	0.20		0.25	0.17		1.67			
伝染性紅斑（リンゴ病）	0.02							0.33			
突発性発しん	0.23	0.50	0.10	0.50		0.50		0.67			
ヘルパンギーナ											
流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）	0.07		0.10		0.50						
急性出血性結膜炎											
流行性角結膜炎	0.38	1.00					2.00				
細菌性髄膜炎											
無菌性髄膜炎											
マイコプラズマ肺炎											
クラミジア肺炎（木嶋病は除く）											
感染性胃腸炎（ロタウイルス）											